

平成 30 年度 第 2 回学校運営協議会 記録

日時： 平成 30 年 11 月 17 日（土）16:00～17:30

場所： 大阪府立布施北高等学校 校長室

出席者： 学校運営協議会委員 7 名、校長、教頭 2 名、事務長、首席、教諭 1 名

1 校長挨拶

2 進捗状況について

- ・平成 31 年度使用教科書を承認。
- ・進路決定者数（平成 30 年度 10 月現在）について
3 年生の 1 次幹旋の合格率は、85%以上で、平成 29 年度卒業者と比較しても決定率は高い。ただ、渡日生については厳しい。未決定者については、年度末までしっかりと指導してほしい。
- ・懲戒件数
昨年度の半分以下に減少している。
- ・欠席と遅刻
欠席数・遅刻回数ともに、昨年度より半減。半減した理由は、エンパワの学年になって生徒指導に力を入れだしており、遅刻指導の内容を変えたため。成果が出ている。継続してほしい。
- ・勤務時間外労働について
教職員の時間外労働が非常に多くなっている。要因は、エンパワの授業の教材作りやクラブ活動等。過労死事件が起きてからでは遅い、解決するためには増員等の対策が必要である。

3 委員からの意見聴取（デュアルエンパワメント発表会について）

- ・自信を持って堂々と発表している生徒を見て、素晴らしいと感じた。
- ・単にプレゼンテーションがうまくなったというだけでなく、自分たちの生き方等を調べていてよかった
- ・エンパワメントスクールの授業等の特長についても発表があり、よくわかった。
- ・学びなおしで 1 年生のときは授業についていけても、2 年生になると難しくなるのが課題では。
- ・実習先としてこれだけの協力企業があるのは布施北高校の強みである。

4 提言

- ・(他のエンパワメントスクールにはない特長としての)デュアルの取り組みの良さをさらに生かしながら、生徒をエンパワーできる高校づくりを進めてほしい。
- ・地域の人たちが応援することによって、先生方の業務が軽減されることで、学校にもプラスになる。
- ・必要な人員確保に向けた交渉において、学校運営協議会の議論をもっと前向きに活用していただきたい。

5 その他

- ・もっと運営協議会の時間をとってほしい。次回 2 月までに臨時会議をもつことはできないか。